



同朋新聞

どうぼうしんぶん

Dōbō Shimbun

11

Vol. 780 November 2022

Shinran
SS500th

南無阿弥陀仏
人と生まれたことの意味をたずねていこう

今月の写真 | 真宗本廟では、11月21日から28日まで「報恩講」が勤まります。(6・7面参照)

CONTENTS

2・3面

人間といういのちの相

つながりを求めて
吉野 安伸さん



6・7面

特集

真宗本廟報恩講のご案内



10・11面

「行財政改革検討委員会」が
始動

「下京・京都駅前サマーフェスタ」
に参画

ほか



4面

現在を生きる
御同朋・御同行からの問いかけ
～是施陀羅の課題～ 第12回

5面

親鸞聖人にであう
第4回

8面

今月の法話 第26回

9面

慶讃NEWS



慶讃特設サイト 検索

発行所
真宗大谷派宗務所
代表者 木越 渉
編集／東本願寺出版(真宗大谷派宗務所出版部)
〒600-8505 京都市下京区烏丸通七条上る
TEL.075-371-9189(東本願寺出版)
購読料 無料
送 料 1部1ヵ年1,300円(部数により変動)
振替口座番号 01000-6-27404
加入者名 東本願寺出版部

御本尊は本山からお受けしましょう

連載

人間といういのちの相

ら参加してほしい」と言われ、悩みな
がら断ると、「もうあなたとは友達で
はないよね」と言われてしまったそ
うです。ほかには、ウクライナ人から親
族であるロシア人へ連絡があった際に
「私たちは、あなた方に殺されている」
と言われたこともあったそうです。一
方的に責められてしまうロシア人も、
侵攻によって生活を脅かされているウ
クライナ人も、今回の侵攻によって分
断されて、ともに心を痛めています。
――国家が行う戦争によって、国と
いうフィルターを通してその人を見
てしまうということがあるのです
ね。国家の戦争とは、友達になれたか
もしれないウクライナとロシアの若
者同士が、いのちのやりとりをしな
ければならない戦場におかれる残酷
なものだということを私たちはしっ
かりと知らなければならぬと感じ
ました。現在、吉野さんは、ウクライ
ナだけではなく、その周辺の国々と
の交流も企画されていますが、何を
大切にされているのでしょうか。

訪れた先の人など、多くの方々に助けて
もらいました。日本に帰国してしま
うと、助けてもらった人たちに直接恩返し
をすることはできません。だから現在、
日本にいられている外国人のツアーコン
ダクターをしたり、海外との文化交流
のイベントを企画しています。人と人
が出会う場を作ること、日本人がま
だ知らない国のことを知ってもらう、そ
れがハンガリー留学の時の恩返しになる
のかなという思いが根底にあります。
――ハンガリーではどんな出会いが
あったのですか。
勉強ももちろんですが、日本人のい
ない国に行ってみたく、EU加盟国の
人たちとつながりを持ちたいと思っ
ていました。当時はまだフェイスブック
ができた頃だったので、ネットでいろ
ろな国の人を探して連絡を取り合い、
ブルガリア、ペラルーシなどに会いに
行ったり、旅行に行ったりしました。
現地では、地下鉄やバスには乗らず
にいろいろな街を歩きました。そして

た、中央アジアのキルギス共和国のイ
ベントを通じて、つながりのあるロシア
のワインを提供し、そこにロシア人も
来てもらいました。一つの国にこだわ
てしまうと、その国に関するイベン
トしか開催できなくなってしまう。
自分とつながっている人たちはいろ
んな国にいます。さまざまな思いをも
つた人と人との息抜きをし、ゆっく
り話せる場、人とつながれる機会を作
りたい。その形を模索しています。
――これまでのお話をお聞きして、
テレビや新聞などで報道される限
られた情報でわかったつもりになっ
たり、それ以上知ろうとしない、私
たちの相が見えたと感じています。
日本に住む私たちが大切にしない
ばならないことは何でしょうか。
一つは先入観を持たないことです。
私は、「二国間の話があれば両方の話を
聞きます。それでもわからないければ、
現地の人がどう思われているかを複
数人から聞き、私はどう思うかを考
えます。最初からどちらが正しいと
か、味方をするとか考えないことが大
切だと思います。もう一つは知ろうと
することです。自分は興味がなく
ても、嫌いなことでも、まず知ること
から始める。そして、自分はどうか
それが本当に正しいかどうかを考え

る。自問自答になるかもしれませんが
が、とても大切なことだと思っていま
す。多くの情報が私たちのものに届き
ますが、できる限りそこに疑問を立て
て、立ち止まって考えてみることをし
ないと、作られたニュースが正しいと思
いこんで間違った方向に進んでしま
うのではないかと気がしています。
――さまざまなつながりの中で感じるの
ですが、海外の方は、日本に興味を持
ち、日本のことをよく見えています。と
ころが日本人は見られているというこ
とに気づいていないのではないでしょ
うか。相手のことを尊敬し、話を聞
く。これは、日本人同士
でも大切にしたいことだ
と思います。
また、自分が善で、自
分と異なるものは悪者
であるとか、自分をよく
見せたい、自分が正しい
と思いたいという思いが
私たちの心にあるのでは
ないでしょうか。日本で
は多様な人、文化、民族
に出会うこと自体に十
分に慣れていることも
あり、新しいものや意見
を受け入れることがま
だまだ足りていないよ
うに感じています。これ
からも、文化交流を通
して日本人に向けても情
報を発信していきたい

から、またはいったん就職してから留
学するケースが多く、20代後半の年代
が多いのです。いろいろな国の人がいて、
さまざまな背景のもとにここに来てい
る。今まで、国に対するイメージという
フィルターで相手を見たり、物事を考
えていた自分に気づかされました。
――ウクライナへの侵攻は、正にさま
ざまなフィルターによって見られて
いると思いますが、SNSなどを通じ
て寄せられたウクライナやロシアの
現状について教えていただけますか。
ウクライナに20年住み、合気道を
教えている日本人の方がおられます。
コロナ以前は年2回来日されていま
した。とにかく侵攻は青天の霹靂だっ
た。緊張が高まる中ではあったけれ
ど、毎年この時期に行っていた他国へ
の1年ビザの申請をいつもどおりに受
け付けてもらった。しかし、2月23日

分断される人々

友人の家庭にお世話になつて、泊まっ
た翌朝は、おれに日本料理を作るな
ど、そんな交流を重ねました。
大学では、イラン、イスラエル、スベ
イ、ドイツなどからの留学生と学びま
した。クラスメートと接していると、みん
な気さくで勉強も真面目。緊張関係にあ
る国の学生同士が助け合っていました。
コミュニケーションの時間に、何で医
者になりたいのかという質問がありま
した。イスラエルの学生は、徴兵された
自分の友人が地雷を踏んで足をなく
したのを見て、医者になりたいと思っ
たと。イランの学生は、国が制裁を受
けて食物がいきわたらず、人々は栄養
が足りないことで体調を崩す。それが
歯に影響を及ぼすことから医学部の
後は歯学部で学んで歯医者になりた
いと言っていました。また、日本やスベ
イは高校を卒業してすぐに大学に
進学することが多く、18歳、19歳の子
が多いのですが、ドイツ、ギリシャ、イ
ランなどからの学生は、徴兵を終えて

多様な文化の中で生きてお
られる方々にとって、平和とは観
念的なものではなく、現実の問題とし
てどうしていくかということがあ
ると思います。――吉野さんにとって平
和とはどのようなことだと感じてお
られますか。
とても難しい課題だと思います。日
本に限らず、社会が豊かになればなる
ほど、自分の保身や、自分が一番だ
という欲の塊がどんどん強くなって
いるのではないかと感じるのです。
豊かであることの大切さ、感謝の気持
ちが薄れていっているのではない
でしょうか。そして、人
を愛すること、相手を受
け入れるとはどういうこ
となのかを問い続け
ていきたいと思います。
一方で、人それぞれに
平和や幸せを感じる存
在があると思います。そ
れは例えば家族だつた
り、自分の時間だつた
り、人とのつながりだ
たり、他にもいろいろあ
ることでしょう。一人
ひとり異なると思
います。――それらが積み重な
たり、連なり合っ
ていく。そのことが一
つの平和という形になる
のだと思っています。(一)

つなぐを求めて

異国での出会い

まず、吉野さんのこれまでの歩
みや、現在の活動について教えて
いただけますか。
私は大阪で生まれた後、1歳から10
歳まで奈良で暮らしました。東大寺の
幼稚園に通っていたことや、四天王寺で
祖父のお葬式を勤めたこともあり、今
でもお寺に行く、懐かしさ心が落ち
着きます。また、私の父は長らく外資
系の企業に勤務していたことから、生
活の中で外国の方は身近な存在でし
た。「自分のやりたいことがあったら日
本に限らず他の国に行きなさい」とい
う両親の考えのもとで育ちました。
そして、もともと地理が好きだったこと
もあり、旅行で訪れた東ヨーロッパに興
味を持ち、ハンガリーの大学に2010
年からおよそ5年間留学しました。
ハンガリーでは、大学をはじめさま
ざまな場所であつた現地の人旅行で、

シニア、旧ソ連の国々に住む方々とSNSコミュニティーを開
設するなど、文化交流を企画・運営されています。これまでの交
流から見てきたことは、吉野さんのお話を通して、人間の相
を

宗祖親鸞聖人御誕生八百五十年・立教開宗八百年慶讃テーマ

「南無阿弥陀仏 人と生まれたことの意味をたずねていこう」

宗祖御遠忌テーマ
「今、いのちがあなたを生きている」
慶讃テーマ
「南無阿弥陀仏 人と生まれたことの
意味をたずねていこう」
の学びを深めていきたいと思います。

大阪府出身。ウクライナ、ハンガリーと他国を結んで文化情報などを
伝えあうSNSのコミュニティImprovisado Arte(インプロビサド
アルテ)代表。ハンガリー・首都ブダペストの国立センメルヴェイ
ス大学医学部医学科へ入学、中退。帰国後は東欧・旧ソ連諸国との懸
橋となるさまざまな国際交流イベントの企画・運営に奔走中。

この紙面では、さまざまな人を通して、
現代社会の抱える課題や
人間そのものについて考え、
宗祖御遠忌テーマ
「今、いのちがあなたを生きている」
慶讃テーマ
「南無阿弥陀仏 人と生まれたことの
意味をたずねていこう」
の学びを深めていきたいと思います。

法蔵館文庫 創刊3周年
――南海寄帰内法伝
七世紀インド僧伽の日常生活
義浄、宮林昭彦、加藤栄司監訳 二七五〇円
7世紀のインドの僧侶の日常を食生活や衛生生活
を記した。僧侶の生活やインドと中国
の戒律を比較して記した第3級の留学レポート。
日本人の身体観の歴史
養老孟司監訳 一四三〇円
日本の中近世・現代思想の身体論から西欧の
身体観まで論じる。身体をどう捉え、世界
の形をどう捉える。養老孟司の集大成
島田進監訳 一六五〇円
な現代人は「フリチャリティー」を求めているのか。宗教や科学に変わる新しい思想を体系的
に分析し、変容する精神文化の美態に迫る。
精神世界のゆくえ
――通夜から墓参りまで
北島信子監訳 一、三〇〇円
浄土真宗の法事は、亡
くなった人のためにする
のではない。仏事の本来
の意義やあり方を、詳
しく解説！
お内仏のお給仕
――真宗門徒の仏事作法
真宗仏事研究会監訳 三、七四〇円
浄土真宗の仏具の種類
と構造、仏具の名前と
扱い方正しくおさ
る仕方などを、写真と共
に説明する。
2023年のぼのカレンダー
東井義雄監訳 寺田あやの監訳 一五〇円
浄土真宗の仏事日程入り。便利な大判サイズ。
心あたたまる12ヶ月の法語つきカレンダー。
法蔵館監訳
悪人正機
――私があて
てお経を唱えて
東井義雄監訳 一〇〇円
※寺田あやの印刷可能原稿

法蔵館文庫 創刊3周年
――南海寄帰内法伝
七世紀インド僧伽の日常生活
義浄、宮林昭彦、加藤栄司監訳 二七五〇円
7世紀のインドの僧侶の日常を食生活や衛生生活
を記した。僧侶の生活やインドと中国
の戒律を比較して記した第3級の留学レポート。
日本人の身体観の歴史
養老孟司監訳 一四三〇円
日本の中近世・現代思想の身体論から西欧の
身体観まで論じる。身体をどう捉え、世界
の形をどう捉える。養老孟司の集大成
島田進監訳 一六五〇円
な現代人は「フリチャリティー」を求めているのか。宗教や科学に変わる新しい思想を体系的
に分析し、変容する精神文化の美態に迫る。
精神世界のゆくえ
――通夜から墓参りまで
北島信子監訳 一、三〇〇円
浄土真宗の法事は、亡
くなった人のためにする
のではない。仏事の本来
の意義やあり方を、詳
しく解説！
お内仏のお給仕
――真宗門徒の仏事作法
真宗仏事研究会監訳 三、七四〇円
浄土真宗の仏具の種類
と構造、仏具の名前と
扱い方正しくおさ
る仕方などを、写真と共
に説明する。
2023年のぼのカレンダー
東井義雄監訳 寺田あやの監訳 一五〇円
浄土真宗の仏事日程入り。便利な大判サイズ。
心あたたまる12ヶ月の法語つきカレンダー。
法蔵館監訳
悪人正機
――私があて
てお経を唱えて
東井義雄監訳 一〇〇円
※寺田あやの印刷可能原稿

法蔵館文庫 創刊3周年
――南海寄帰内法伝
七世紀インド僧伽の日常生活
義浄、宮林昭彦、加藤栄司監訳 二七五〇円
7世紀のインドの僧侶の日常を食生活や衛生生活
を記した。僧侶の生活やインドと中国
の戒律を比較して記した第3級の留学レポート。
日本人の身体観の歴史
養老孟司監訳 一四三〇円
日本の中近世・現代思想の身体論から西欧の
身体観まで論じる。身体をどう捉え、世界
の形をどう捉える。養老孟司の集大成
島田進監訳 一六五〇円
な現代人は「フリチャリティー」を求めているのか。宗教や科学に変わる新しい思想を体系的
に分析し、変容する精神文化の美態に迫る。
精神世界のゆくえ
――通夜から墓参りまで
北島信子監訳 一、三〇〇円
浄土真宗の法事は、亡
くなった人のためにする
のではない。仏事の本来
の意義やあり方を、詳
しく解説！
お内仏のお給仕
――真宗門徒の仏事作法
真宗仏事研究会監訳 三、七四〇円
浄土真宗の仏具の種類
と構造、仏具の名前と
扱い方正しくおさ
る仕方などを、写真と共
に説明する。
2023年のぼのカレンダー
東井義雄監訳 寺田あやの監訳 一五〇円
浄土真宗の仏事日程入り。便利な大判サイズ。
心あたたまる12ヶ月の法語つきカレンダー。
法蔵館監訳
悪人正機
――私があて
てお経を唱えて
東井義雄監訳 一〇〇円
※寺田あやの印刷可能原稿

法蔵館文庫 創刊3周年
――南海寄帰内法伝
七世紀インド僧伽の日常生活
義浄、宮林昭彦、加藤栄司監訳 二七五〇円
7世紀のインドの僧侶の日常を食生活や衛生生活
を記した。僧侶の生活やインドと中国
の戒律を比較して記した第3級の留学レポート。
日本人の身体観の歴史
養老孟司監訳 一四三〇円
日本の中近世・現代思想の身体論から西欧の
身体観まで論じる。身体をどう捉え、世界
の形をどう捉える。養老孟司の集大成
島田進監訳 一六五〇円
な現代人は「フリチャリティー」を求めているのか。宗教や科学に変わる新しい思想を体系的
に分析し、変容する精神文化の美態に迫る。
精神世界のゆくえ
――通夜から墓参りまで
北島信子監訳 一、三〇〇円
浄土真宗の法事は、亡
くなった人のためにする
のではない。仏事の本来
の意義やあり方を、詳
しく解説！
お内仏のお給仕
――真宗門徒の仏事作法
真宗仏事研究会監訳 三、七四〇円
浄土真宗の仏具の種類
と構造、仏具の名前と
扱い方正しくおさ
る仕方などを、写真と共
に説明する。
2023年のぼのカレンダー
東井義雄監訳 寺田あやの監訳 一五〇円
浄土真宗の仏事日程入り。便利な大判サイズ。
心あたたまる12ヶ月の法語つきカレンダー。
法蔵館監訳
悪人正機
――私があて
てお経を唱えて
東井義雄監訳 一〇〇円
※寺田あやの印刷可能原稿

法蔵館文庫 創刊3周年
――南海寄帰内法伝
七世紀インド僧伽の日常生活
義浄、宮林昭彦、加藤栄司監訳 二七五〇円
7世紀のインドの僧侶の日常を食生活や衛生生活
を記した。僧侶の生活やインドと中国
の戒律を比較して記した第3級の留学レポート。
日本人の身体観の歴史
養老孟司監訳 一四三〇円
日本の中近世・現代思想の身体論から西欧の
身体観まで論じる。身体をどう捉え、世界
の形をどう捉える。養老孟司の集大成
島田進監訳 一六五〇円
な現代人は「フリチャリティー」を求めているのか。宗教や科学に変わる新しい思想を体系的
に分析し、変容する精神文化の美態に迫る。
精神世界のゆくえ
――通夜から墓参りまで
北島信子監訳 一、三〇〇円
浄土真宗の法事は、亡
くなった人のためにする
のではない。仏事の本来
の意義やあり方を、詳
しく解説！
お内仏のお給仕
――真宗門徒の仏事作法
真宗仏事研究会監訳 三、七四〇円
浄土真宗の仏具の種類
と構造、仏具の名前と
扱い方正しくおさ
る仕方などを、写真と共
に説明する。
2023年のぼのカレンダー
東井義雄監訳 寺田あやの監訳 一五〇円
浄土真宗の仏事日程入り。便利な大判サイズ。
心あたたまる12ヶ月の法語つきカレンダー。
法蔵館監訳
悪人正機
――私があて
てお経を唱えて
東井義雄監訳 一〇〇円
※寺田あやの印刷可能原稿

法蔵館文庫 創刊3周年
――南海寄帰内法伝
七世紀インド僧伽の日常生活
義浄、宮林昭彦、加藤栄司監訳 二七五〇円
7世紀のインドの僧侶の日常を食生活や衛生生活
を記した。僧侶の生活やインドと中国
の戒律を比較して記した第3級の留学レポート。
日本人の身体観の歴史
養老孟司監訳 一四三〇円
日本の中近世・現代思想の身体論から西欧の
身体観まで論じる。身体をどう捉え、世界
の形をどう捉える。養老孟司の集大成
島田進監訳 一六五〇円
な現代人は「フリチャリティー」を求めているのか。宗教や科学に変わる新しい思想を体系的
に分析し、変容する精神文化の美態に迫る。
精神世界のゆくえ
――通夜から墓参りまで
北島信子監訳 一、三〇〇円
浄土真宗の法事は、亡
くなった人のためにする
のではない。仏事の本来
の意義やあり方を、詳
しく解説！
お内仏のお給仕
――真宗門徒の仏事作法
真宗仏事研究会監訳 三、七四〇円
浄土真宗の仏具の種類
と構造、仏具の名前と
扱い方正しくおさ
る仕方などを、写真と共
に説明する。
2023年のぼのカレンダー
東井義雄監訳 寺田あやの監訳 一五〇円
浄土真宗の仏事日程入り。便利な大判サイズ。
心あたたまる12ヶ月の法語つきカレンダー。
法蔵館監訳
悪人正機
――私があて
てお経を唱えて
東井義雄監訳 一〇〇円
※寺田あやの印刷可能原稿

法蔵館文庫 創刊3周年
――南海寄帰内法伝
七世紀インド僧伽の日常生活
義浄、宮林昭彦、加藤栄司監訳 二七五〇円
7世紀のインドの僧侶の日常を食生活や衛生生活
を記した。僧侶の生活やインドと中国
の戒律を比較して記した第3級の留学レポート。
日本人の身体観の歴史
養老孟司監訳 一四三〇円
日本の中近世・現代思想の身体論から西欧の
身体観まで論じる。身体をどう捉え、世界
の形をどう捉える。養老孟司の集大成
島田進監訳 一六五〇円
な現代人は「フリチャリティー」を求めているのか。宗教や科学に変わる新しい思想を体系的
に分析し、変容する精神文化の美態に迫る。
精神世界のゆくえ
――通夜から墓参りまで
北島信子監訳 一、三〇〇円
浄土真宗の法事は、亡
くなった人のためにする
のではない。仏事の本来
の意義やあり方を、詳
しく解説！
お内仏のお給仕
――真宗門徒の仏事作法
真宗仏事研究会監訳 三、七四〇円
浄土真宗の仏具の種類
と構造、仏具の名前と
扱い方正しくおさ
る仕方などを、写真と共
に説明する。
2023年のぼのカレンダー
東井義雄監訳 寺田あやの監訳 一五〇円
浄土真宗の仏事日程入り。便利な大判サイズ。
心あたたまる12ヶ月の法語つきカレンダー。
法蔵館監訳
悪人正機
――私があて
てお経を唱えて
東井義雄監訳 一〇〇円
※寺田あやの印刷可能原稿

法蔵館文庫 創刊3周年
――南海寄帰内法伝
七世紀インド僧伽の日常生活
義浄、宮林昭彦、加藤栄司監訳 二七五〇円
7世紀のインドの僧侶の日常を食生活や衛生生活
を記した。僧侶の生活やインドと中国
の戒律を比較して記した第3級の留学レポート。
日本人の身体観の歴史
養老孟司監訳 一四三〇円
日本の中近世・現代思想の身体論から西欧の
身体観まで論じる。身体をどう捉え、世界
の形をどう捉える。養老孟司の集大成
島田進監訳 一六五〇円
な現代人は「フリチャリティー」を求めているのか。宗教や科学に変わる新しい思想を体系的
に分析し、変容する精神文化の美態に迫る。
精神世界のゆくえ
――通夜から墓参りまで
北島信子監訳 一、三〇〇円
浄土真宗の法事は、亡
くなった人のためにする
のではない。仏事の本来
の意義やあり方を、詳
しく解説！
お内仏のお給仕
――真宗門徒の仏事作法
真宗仏事研究会監訳 三、七四〇円
浄土真宗の仏具の種類
と構造、仏具の名前と
扱い方正しくおさ
る仕方などを、写真と共
に説明する。
2023年のぼのカレンダー
東井義雄監訳 寺田あやの監訳 一五〇円
浄土真宗の仏事日程入り。便利な大判サイズ。
心あたたまる12ヶ月の法語つきカレンダー。
法蔵館監訳
悪人正機
――私があて
てお経を唱えて
東井義雄監訳 一〇〇円
※寺田あやの印刷可能原稿

法蔵館文庫 創刊3周年
――南海寄帰内法伝
七世紀インド僧伽の日常生活
義浄、宮林昭彦、加藤栄司監訳 二七五〇円
7世紀のインドの僧侶の日常を食生活や衛生生活
を記した。僧侶の生活やインドと中国
の戒律を比較して記した第3級の留学レポート。
日本人の身体観の歴史
養老孟司監訳 一四三〇円
日本の中近世・現代思想の身体論から西欧の
身体観まで論じる。身体をどう捉え、世界
の形をどう捉える。養老孟司の集大成
島田進監訳 一六五〇円
な現代人は「フリチャリティー」を求めているのか。宗教や科学に変わる新しい思想を体系的
に分析し、変容する精神文化の美態に迫る。
精神世界のゆくえ
――通夜から墓参りまで
北島信子監訳 一、三〇〇円
浄土真宗の法事は、亡
くなった人のためにする
のではない。仏事の本来
の意義やあり方を、詳
しく解説！
お内仏のお給仕
――真宗門徒の仏事作法
真宗仏事研究会監訳 三、七四〇円
浄土真宗の仏具の種類
と構造、仏具の名前と
扱い方正しくおさ
る仕方などを、写真と共
に説明する。
2023年のぼのカレンダー
東井義雄監訳 寺田あやの監訳 一五〇円
浄土真宗の仏事日程入り。便利な大判サイズ。
心あたたまる12ヶ月の法語つきカレンダー。
法蔵館監訳
悪人正機
――私があて
てお経を唱えて
東井義雄監訳 一〇〇円
※寺田あやの印刷可能原稿

法蔵館文庫 創刊3周年
――南海寄帰内法伝
七世紀インド僧伽の日常生活
義浄、宮林昭彦、加藤栄司監訳 二七五〇円
7世紀のインドの僧侶の日常を食生活や衛生生活
を記した。僧侶の生活やインドと中国
の戒律を比較して記した第3級の留学レポート。
日本人の身体観の歴史
養老孟司監訳 一四三〇円
日本の中近世・現代思想の身体論から西欧の
身体観まで論じる。身体をどう捉え、世界
の形をどう捉える。養老孟司の集大成
島田進監訳 一六五〇円
な現代人は「フリチャリティー」を求めているのか。宗教や科学に変わる新しい思想を体系的
に分析し、変容する精神文化の美態に迫る。
精神世界のゆくえ
――通夜から墓参りまで
北島信子監訳 一、三〇〇円
浄土真宗の法事は、亡
くなった人のためにする
のではない。仏事の本来
の意義やあり方を、詳
しく解説！
お内仏のお給仕
――真宗門徒の仏事作法
真宗仏事研究会監訳 三、七四〇円
浄土真宗の仏具の種類
と構造、仏具の名前と
扱い方正しくおさ
る仕方などを、写真と共
に説明する。
2023年のぼのカレンダー
東井義雄監訳 寺田あやの監訳 一五〇円
浄土真宗の仏事日程入り。便利な大判サイズ。
心あたたまる12ヶ月の法語つきカレンダー。
法蔵館監訳
悪人正機
――私があて
てお経を唱えて
東井義雄監訳 一〇〇円
※寺田あやの印刷可能原稿

法蔵館文庫 創刊3周年
――南海寄帰内法伝
七世紀インド僧伽の日常生活
義浄、宮林昭彦、加藤栄司監訳 二七五〇円
7世紀のインドの僧侶の日常を食生活や衛生生活
を記した。僧侶の生活やインドと中国
の戒律を比較して記した第3級の留学レポート。
日本人の身体観の歴史
養老孟司監訳 一四三〇円
日本の中近世・現代思想の身体論から西欧の
身体観まで論じる。身体をどう捉え、世界
の形をどう捉える。養老孟司の集大成
島田進監訳 一六五〇円
な現代人は「フリチャリティー」を求めているのか。宗教や科学に変わる新しい思想を体系的
に分析し、変容する精神文化の美態に迫る。
精神世界のゆくえ
――通夜から墓参りまで
北島信子監訳 一、三〇〇円
浄土真宗の法事は、亡
なくなった人のためにする
のではない。仏事の本来
の意義やあり方を、詳
しく解説！
お内仏のお給仕
――真宗門徒の仏事作法
真宗仏事研究会監訳 三、七四〇円
浄土真宗の仏具の種類
と構造、仏具の名前と
扱い方正しくおさ
る仕方などを、写真と共
に説明する。
2023年のぼのカレンダー
東井義雄監訳 寺田あやの監訳 一五〇円
浄土真宗の仏事日程入り。便利な大判サイズ。
心あたたまる12ヶ月の法語つきカレンダー。
法蔵館監訳
悪人正機
――私があて
てお経を唱えて
東井義雄監訳 一〇〇円
※寺田あやの印刷可能原稿

法蔵館文庫 創刊3周年
――南海寄帰内法伝
七世紀インド僧伽の日常生活
義浄、宮林昭彦、加藤栄司監訳 二七五〇円
7世紀のインドの僧侶の日常を食生活や衛生生活
を記した。僧侶の生活やインドと中国
の戒律を比較して記した第3級の留学レポート。
日本人の身体観の歴史
養老孟司監訳 一四三〇円
日本の中近世・現代思想の身体論から西欧の
身体観まで論じる。身体をどう捉え、世界
の形をどう捉える。養老孟司の集大成
島田進監訳 一六五〇円
な現代人は「フリチャリティー」を求めているのか。宗教や科学に変わる新しい思想を体系的
に分析し、変容する精神文化の美態に迫る。
精神世界のゆくえ
――通夜から墓参りまで
北島信子監訳 一、三〇〇円
浄土真宗の法事は、亡
なくなった人のためにする
のではない。仏事の本来
の意義やあり方を、詳
しく解説！
お内仏のお給仕
――真宗門徒の仏事作法
真宗仏事研究会監訳 三、七四〇円
浄土真宗の仏具の種類
と構造、仏具の名前と
扱い方正しくおさ
る仕方などを、写真と共
に説明する。
2023年のぼのカレンダー
東井義雄監訳 寺田あやの監訳 一五〇円
浄土真宗の仏事日程入り。便利な大判サイズ。
心あたたまる12ヶ月の法語つきカレンダー。
法蔵館監訳
悪人正機
――私があて
てお経を唱えて
東井義雄監訳 一〇〇円
※寺田あやの印刷可能原稿

法蔵館文庫 創刊3周年
――南海寄帰内法伝
七世紀インド僧伽の日常生活
義浄、宮林昭彦、加藤栄司監訳 二七五〇円
7世紀のインドの僧侶の日常を食生活や衛生生活
を記した。僧侶の生活やインドと中国
の戒律を比較して記した第3級の留学レポート。
日本人の身体観の歴史
養老孟司監訳 一四三〇円
日本の中近世・現代思想の身体論から西欧の
身体観まで論じる。身体をどう捉え、世界
の形をどう捉える。養老孟司の集大成
島田進監訳 一六五〇円
な現代人は「フリチャリティー」を求めているのか。宗教や科学に変わる新しい思想を体系的
に分析し、変容する精神文化の美態に迫る。
精神世界のゆくえ
――通夜から墓参りまで
北島信子監訳 一、三〇〇円
浄土真宗の法事は、亡
なくなった人のためにする
のではない。仏事の本来
の意義やあり方を、詳
しく解説！
お内仏のお給仕
――真宗門徒の仏事作法
真宗仏事研究会監訳 三、七四〇円
浄土真宗の仏具の種類
と構造、仏具の名前と
扱い方正しくおさ
る仕方などを、写真と共
に説明する。
2023年のぼのカレンダー
東井義雄監訳 寺田あやの監訳 一五〇円
浄土真宗の仏事日程入り。便利な大判サイズ。
心あたたまる12ヶ月の法語つきカレンダー。
法蔵館監訳
悪人正機
――私があて
てお経を唱えて
東井義雄監訳 一〇〇円
※寺田あやの印刷可能原稿

法蔵館文庫 創刊3周年
――南海寄帰内法伝
七世紀インド僧伽の日常生活
義浄、宮林昭彦、加藤栄司監訳 二七五〇円
7世紀のインドの僧侶の日常を食生活や衛生生活
を記した。僧侶の生活やインドと中国
の戒律を比較して記した第3級の留学レポート。
日本人の身体観の歴史
養老孟司監訳 一四三〇円
日本の中近世・現代思想の身体論から西欧の
身体観まで論じる。身体をどう捉え、世界
の形をどう捉える。養老孟司の集大成
島田進監訳 一六五〇円
な現代人は「フリチャリティー」を求めているのか。宗教や科学に変わる新しい思想を体系的
に分析し、変容する精神文化の美態に迫る。
精神世界のゆくえ
――通夜から墓参りまで
北島信子監訳 一、三〇〇円
浄土真宗の法事は、亡
なくなった人のためにする
のではない。仏事の本来
の意義やあり方を、詳
しく解説！
お内仏のお給仕
――真宗門徒の仏事作法
真宗仏事研究会監訳 三、七四〇円
浄土真宗の仏具の種類
と構造、仏具の名前と
扱い方正しくおさ
る仕方などを、写真と共
に説明する。
2023年のぼのカレンダー
東井義雄監訳 寺田あやの監訳 一五〇円
浄土真宗の仏事日程入り。便利な大判サイズ。
心あたたまる12ヶ月の法語つきカレンダー。
法蔵館監訳
悪人正機
――私があて
てお経を唱えて
東井義雄監訳 一〇〇円
※寺田あやの印刷可能原稿

法蔵館文庫 創刊3周年
――南海寄帰内法伝
七世紀インド僧伽の日常生活
義浄、宮林昭彦、加藤栄司監訳 二七五〇円
7世紀のインドの僧侶の日常を食生活や衛生生活
を記した。僧侶の生活やインドと中国
の戒律を比較して記した第3級の留学レポート。
日本人の身体観の歴史
養老孟司監訳 一四三〇円
日本の中近世・現代思想の身体論から西欧の
身体観まで論じる。身体をどう捉え、世界
の形をどう捉える。養老孟司の集大成
島田進監訳 一六五〇円
な現代人は「フリチャリティー」を求めているのか。宗教や科学に変わる新しい思想を体系的
に分析し、変容する精神文化の美態に迫る。
精神世界のゆくえ
――通夜から墓参りまで
北島信子監訳 一、三〇〇円
浄土真宗の法事は、亡
なくなった人のためにする
のではない。仏事の本来
の意義やあり方を、詳
しく解説！
お内仏のお給仕
――真宗門徒の仏事作法
真宗仏事研究会監訳 三、七四〇円
浄土真宗の仏具の種類
と構造、仏具の名前と
扱い方正しくおさ
る仕方などを、写真と共
に説明する。
2023年のぼのカレンダー
東井義雄監訳 寺田あやの監訳 一五〇円
浄土真宗の仏事日程入り。便利な大判サイズ。
心あたたまる12ヶ月の法語つきカレンダー。
法蔵館監訳
悪人正機
――私があて
てお経を唱えて
東井義雄監訳 一〇〇円
※寺田あやの印刷可能原稿

法蔵館文庫 創刊3周年
――南海寄帰内法伝
七世紀インド僧伽の日常生活
義浄、宮林昭彦、加藤栄司監訳 二七五〇円
7世紀のインドの僧侶の日常を食生活や衛生生活
を記した。僧侶の生活やインドと中国
の戒律を比較して記した第3級の留学レポート。
日本人の身体観の歴史
養老孟司監訳 一四三〇円
日本の中近世・現代思想の身体論から西欧の
身体観まで論じる。身体をどう捉え、世界
の形をどう捉える。養老孟司の集大成
島田進監訳 一六五〇円
な現代人は「フリチャリティー」を求めているのか。宗教や科学に変わる新しい思想を体系的
に分析し、変容する精神文化の美態に迫る。
精神世界のゆくえ
――通夜から墓参りまで
北島信子監訳 一、三〇〇円
浄土真宗の法事は、亡
なくなった人のためにする
のではない。仏事の本来
の意義やあり方を、詳
しく解説！
お内仏のお給仕
――真宗門徒の仏事作法
真宗仏事研究会監訳 三、七四〇円
浄土真宗の仏具の種類
と構造、仏具の名前と
扱い方正しくおさ
る仕方などを、写真と共
に説明する。
2023年のぼのカレンダー
東井義雄監訳 寺田あやの監訳 一五〇円
浄土真宗の仏事日程入り。便利な大判サイズ。
心あたたまる12ヶ月の法語つきカレンダー。
法蔵館監訳
悪人正機
――私があて
てお経を唱えて
東井義雄監訳 一〇〇円
※寺田あやの印刷可能原稿

法蔵館文庫 創刊3周年
――南海寄帰内法伝
七世紀インド僧伽の日常生活
義浄、宮林昭彦、加藤栄司監訳 二七五〇円
7世紀のインドの僧侶の日常を食生活や衛生生活
を記した。僧侶の生活やインドと中国
の戒律を比較して記した第3級の留学レポート。
日本人の身体観の歴史
養老孟司監訳 一四三〇円
日本の中近世・現代思想の身体論から西欧の
身体観まで論じる。身体をどう捉え、世界
の形をどう捉える。養老孟司の集大成
島田進監訳 一六五〇円
な現代人は「フリチャリティー」を求めているのか。宗教や科学に変わる新しい思想を体系的
に分析し、変容する精神文化の美態に迫る。
精神世界のゆくえ
――通夜から墓参りまで
北島信子監訳 一、三〇〇円
浄土真宗の法事は、亡
なくなった人のためにする
のではない。仏事の本来
の意義やあり方を、詳
しく解説！
お内仏のお給仕
――真宗門徒の仏事作法
真宗仏事研究会監訳 三、七四〇円
浄土真宗の仏具の種類
と構造、仏具の名前と
扱い方正しくおさ
る仕方などを、写真と共
に説明する。
2023年のぼのカレンダー
東井義雄監訳 寺田あやの監訳 一五〇円
浄土真宗の仏事日程入り。便利な大判サイズ。
心あたたまる12ヶ月の法語つきカレンダー。
法蔵館監訳
悪人正機
――私があて
てお経を唱えて
東井義雄監訳 一〇〇円
※寺田あやの印刷可能原稿

法蔵館文庫 創刊3周年
――南海寄帰内法伝
七世紀インド僧伽の日常生活
義浄、宮林昭彦、加藤栄司監訳 二七五〇円
7世紀のインドの僧侶の日常を食生活や衛生生活
を記した。僧侶の生活やインドと中国
の戒律を比較して記した第3級の留学レポート。
日本人の身体観の歴史
養老孟司監訳 一四

通信員リレーレポート Vol.230

日本全国のご門徒の方々や各地で開かれている同朋の会を紹介します。

念速寺の門徒となつて以降、当時としては若手であり自営業で時間に融通が利いたことから、報恩講や永代経などの

取材に伺った際に話された。元々は、現在の所属寺院である念速寺の近所に住んでいて、寺の敷地内にあつた駐車場を借りていただけの関係であつたが、1971(昭和46)年に佐拔さんのお父様が亡くなつた際、偶然お父様の友人が念速寺の門徒総代であつた縁で念速寺の先代の住職に枕経を依頼された。



組同朋大会で挨拶される佐拔さん

次の世代へ

東京教区東京3組 念速寺門徒 佐拔 邦一さん(79歳)

今年6月に開催された東京3組同朋大会において、通算で7期21年間の長きにわたつて東京3組、東京教区

の門徒会員を務め、組や教区にご尽力された功績を教区より表彰された佐拔さん。実は元々真宗門徒ではなかつたという。「父と宗教

現在を生きる

行事の手伝いを依頼されたり、寺で行つていた勉強会に顔を出すようになった。その縁から、東京3組の門徒間の勉強会に参加するようになった。そして組内の門徒研修会を企画するようになり、後に組門徒会員となり、組門徒会副会長、さらに組門徒会長に選出され、同時に教区門徒会員となつた。

80歳を前にして、組や教区の門徒会員を任期満了で退任されたが、その理由として「長く同じ人が役を務めるよりも世代交代をして若返りを図ることがいい」と思つたそう。お寺の総代や門徒会員になる方がいない、との声があるのは事実です。しかし、会社勤めの方でも参加できる聞法会を開くなど、ある程度年齢から教えやお寺に触れることができるように、住職や寺族が門徒活性化すると思います」と話された。

取材の際に『同朋新聞』で取り上げられている他の教区の門徒さんみたいに、真宗の教えについて勉強をしていないことがお恥ずかしいと思いますし、縁がなければ教えに触れることがなかつた自分があらためて明らかになつています」と話されていた。しかし、実際に組や教区の行事に参加して、熱心に聞法されている佐拔さんの姿勢から感銘を受けた。あらためて、縁のある方や次の世代に教えを伝え続けることの大切さを学んだような気がした。

東京教区通信員／平松 正宣

御同朋 御同行

からの問ひかけ

第12回

今、問われていること(4) 女性差別

―聖教の言葉から考える―

『仏説観無量寿経』の「是旃陀羅は、母を殺害しようとする阿闍世王に、その行為は王族の身分を汚すことで、これは旃陀羅である」と大臣が諫めた言葉です。王は殺害を思い止まりますが、そこには身分制度という秩序に縛られて生きる王と大臣の姿があります。「是旃陀羅」の課題は、社会秩序の中で差別されている人の存在を知り、その秩序を問い直していくことでもあります。

「是旃陀羅」の課題に取り組むうえで、同様の質をもつ問題として、女性差別の視点からの提起があります。經典以外にも仏事で拝読されるものの中には「五障・三従」の教えが出てきます。「女性には五つの障りがあるため、女性のままで仏になれない(五障)」と、「幼い時は父、結婚しては夫、老いては息子に従って生きよ(三従)」という女性観です。この女性観は、男性中心の社会秩序を構築・維持し、女性差別を肯定する根拠の役割を果たしてきました。

宗門が問われている『仏説観無量寿経』における「是旃陀羅」の語について、様々な視点からこの問題を考えていかなければなりません。このコーナーでは、これまでの歴史を振り返りながら、宗門に属するすべての人々が課題を共有できるよう情報を発信していきます。

現在も、家庭や職場などで、女性が男性に従属する立場となることを強いる場面も見られます。「五障・三従」は、宗門内の女性を中心に、「仏事で拝読されると辛い」との声が長くあげられてきました。それは、言葉を読むことの是非だけでなく、仏教がこれからも男性優位の秩序や女性差別を助長し、正当化し続けるのかとの問いかけです。私たちがいただく聖教には、現代では差別的とされる言葉があります。その中には、当時の社会状況で差別され、苦悩する人びとを救いの対象とするために表現された言葉もあるでしょう。しかし、女性が抑圧されてきた歴史とともに、今も続いている女性差別の現実を知った時、私たちは、その言葉の先にいる人の存在に思いを巡らせ、その人たちの声を本当に聞くことができているでしょうか。自分の固定的な思いで聞いていないでしょうか。そのことを一人ひとりが考えて実践することが、差別を解消する一歩になるのです。

この記事に関するお問い合わせ

解放運動推進本部

075-371-9247

kaicho@higashihonganji.or.jp

丸西宗教織物

丸西「おかげさま」夏・冬のクリーニング割引セール★特典！全国どこでも無料発送（3領以上）抗ウイルス除菌・消臭・抗菌加工してお届けします！

FAX 0120-051-881 TEL 0120-075-024

丸西宗教織物株式会社

京都市下京区堀川通正面上ル東側

クリーニング料金表

品名(税込)	化繊(税込)	正絹(税込)
間衣	3,800円～	5,800円～
直綴	4,800円～	7,800円～
裳附	4,800円～	7,800円～
袴	4,500円～	5,800円～
五条袈裟	3,300円～	3,800円～
七条袈裟		8,800円～
和装品	小紋	2,000円～ 3,200円～
	訪問着	3,000円～ 4,000円～
	色留袖	4,500円～
	留袖	比翼付 5,500円～
	振袖	5,500円～

東本願寺 門徒勤行

読誦：東本願寺御堂衆 【収録】正信偈草四句目下／仏説阿彌陀經ほか

真宗大谷派 DVD 2枚組 19,580円(税込)

仏花の立て方 真宗大谷派の立華について、本山様式にのっとり、実演と丁寧な解説で指導。

監修：平等明信師 構成：仁科和志師 全90分収録

雑賀正晃師法話集 情熱溢れる語り口と深い信心で語り続けた法話。

各巻 2,200円(税込) ◆通夜法話 この悲しみを縁として ◆通夜法話 別れは會う為にこそある ◆抱かれてあり ◆温もりの輪が広がる

CD 2,970円(税込 / CDサイズ経本付) カセットテープ 2,530円(税込 / お経カード付)

ゴータマ・ブッダの心を語る

CD11枚組 19,800円(税込/送料サービス) 人間ゴータマ・シッタールタと、仏教の原点を綴る仏典から、慈悲と寛容を説くブッダの教えをわかりやすくお話し載します。

1. ゴータマ・ブッダの大いなる死
2. 仏弟子の告白・尼僧の告白
3. ゴータマ・ブッダの言葉から
4. 浄土三部經
5. 般若心經・金剛般若經
6. 法華經

全649分 解説書付

京都市下京区七条通大宮西入

市原栄光堂

TEL 075(371)6843 FAX 075(371)8685



「詰」

— 深まる苦悩と

行き詰まり —

「真実に目覚めたい」という深い願いに促され、ひたむきに学びを続けられる親鸞聖人。しかし、まじめに修行をすればするほどに苦悩は深まり、「行き詰まり」を感じていかれます。

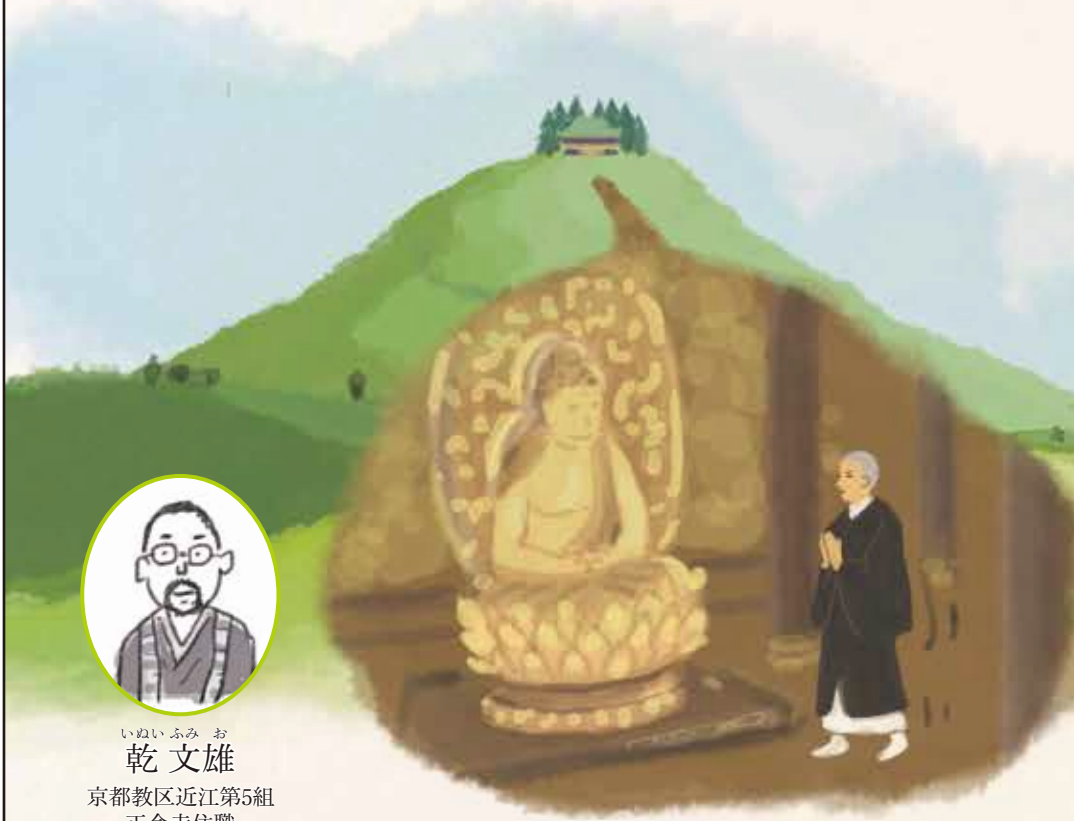
山に上り10年後、聖人19歳の時、大阪の磯長（現在の南河内太子町）にある聖徳太子の御廟（お墓）で一夜を過ごした折のことです。夢に太子が現れて「迷う者を救うのが阿弥陀如来のお仕事であり、この国はその教えが花開くにふさわしい地である。ただあなたの命はあと10年。善く信じなさい」とのお告げがあったと伝えられます。

このお告げからは当時の聖人がどのような悩みを抱えておられたかをうかがい知ることができます。

さらに10年、聖人は氣力・体力・学力はもちろん、集中力、忍耐力、観察力といった、ありとあらゆる持てる力を尽くして努力されました。比叡山の仏道は「煩惱を断つてさとりを開く」というものでしたが、聖人にとっては、湧き起る煩惱を断つことは容易ではありませんでした。一步一步さとりに近づく階段を上るような道の中で、先に光が見えないという不安や焦燥感やもどかしさが募ります。真理に近づいているという確かな手応えもなく、心が晴れないままに、比叡山での20年が流れていきます。

親鸞聖人 であう

浄土真宗をあきらかにされた親鸞聖人。
大谷中・高等学校「京都」で
生徒とともに学ばれている乾さんと、
中高生の素直（リアル）な問いを手がかりに、
「人と生まれたことの意味」を
親鸞聖人のご生涯に学んでいきます。



いぬい ふみお
乾 文雄

京都教区近江第5組
正念寺住職
大谷中学・高等学校講師

「私」の大事な先生の一人に、中川皓三郎という先生がいてな、

「行き詰まる」ってことを考えるときにどうしてもみんなに紹介したい人なのよ。その先生は、ある日、若い人からの『仏とは？ 仏道とは？ 念仏とは？』という質問にこう答えられたのよ」

「仏とは本当に生きた人のこと。だから仏道とは本当に生きる人に成るための道のことやな。念仏は、ある意味、本当にありがと、心からごめんなさいということとちがうかな」
「それは優しい語り口やったな。この『ざっくりとした説明』は、私にとって学びの原動力になったのよ」

さて、親鸞聖人は比叡山での20年間「まじめ」を尽くし、その果てに「行き詰まった」と伝えられます。
「みんな、まじめってどういう意味かな？」

「ふざけていないとか、誠実とかですかね」

「その通り！ でもな、元々は『まっすぐにじつと見つめる』ということらしい。そうすると親鸞さんは、20年間何を見つめ続けていたんやろ？」

親鸞聖人が見つめられたもの、それは「本当に生きる人と成る道」でした。しかし、そのことを通して、それ以上に見つめねばならないものに出あいます。それはその道を歩もうとする「自分自身」です。そして、その道にとても適わない自己が見えてきたとき「行き詰まり」を感じていかれたのではないのでしょうか。

「ところで『本当に生きる』の反対はなんやと思っ？」

生徒からは「ええ加減に生きる。」

「ボーっと生きる・仕方なしに生きる・とりあえず生きる」など、次から次へと答えが返ってきます。盛り上がった後にこう聞きました。
「で、今の自分の生き方はどれが一番近い？」

「まじめ」に考え込んでしまったようで、教室が一瞬静かになりました。ちなみに印象に残った答えは、「いい人を演じて生きる」というもので、私自身ドキツとしてしまいました。

「思い出したんやけどな、ある日の休み時間に友人と話していたら、中川先生がいきなり話に割り込んできて、『乾よ、おまえはおまえでええやないか。いったい誰を生きようとしているんや』と笑顔で怒られたのよ。たぶん自慢するか知ったかぶりを大いにしていたんやと思う。先生は聞くに堪えられなかったのやろ。うな。今でも時々思い出す恥ずかしくもありうれしくもある話です」

中川先生は大学生の時、人生に深く悩まれて、一人の先生を訪ねられます。悩みを打ち明けた後、その先生は「うおっしやったそです。」

「人はジャンプする時、一度深く沈み込むのです。安心して落ち込みなさい」

中川先生は、「それは新たな出発点となる言葉であった」とお話しくださいました。

親鸞聖人は深く悩まれます。山に留まるべきか、それとも別の道に向かうべきか……。しかし、いったい別の道など、どこにあるのか。深く深く沈み込む聖人は、悩む場を聖徳太子にゆかりがある「六角堂」に求められます。

2022年
11月21日(月)～28日(月)

報恩講

真宗本廟



真宗本廟では、11月21日から28日まで
七昼夜(8日間)にわたって報恩講が勤まります。

本年の報恩講は、昨年同様、新型コロナウイルス感染防止策を徹底し、ご参拝を受け入れます。

- ※両堂には椅子席をご用意します。うち御影堂の1,500席を上限として団体参拝席に、それ以外を自由席としてご用意します。(晨朝法要はすべて自由席です。)
- ※定められた入口・出口からの入退堂をお願いします。
- ※入堂時はマスク着用・アルコール消毒をお願いします。
- ※今後の感染状況に応じて内容を変更する場合があります。最新情報は宗派ホームページをご確認ください。



報恩講期間中は、真宗本廟収骨・本山永代経・本山申経のお取り扱いがございます。この期間にご遺骨を持参された方は、参拝接待所受付にてお預かりし、11月29日(火)にお収めします。

基本日程

～報恩講の1日～

- 6:50 晨朝法要 御文・法話 **【阿弥陀堂・御影堂】**
- 9:30 日中集会(開式) 日中法要にご参拝の方は、この時刻までに御影堂にお入りください
引続 法話
- 10:00 日中法要 **【御影堂】**
引続 帰敬式
- 13:15 速夜集会(開式) 速夜法要にご参拝の方は、この時刻までに御影堂にお入りください
門徒感話(生徒感話)・報恩講法話
- 14:00 速夜法要 御文法話 ※日によって開始時間が異なりますので、詳細は宗派ホームページをご覧ください。
引続 初夜勤行



インターネットライブ配信のご案内

「報恩講」ならびに「子ども報恩講のつどい」・「親鸞聖人讃仰講演会」をインターネットにてライブ配信します。ぜひご覧ください。

YouTube 真宗大谷派 公式

検索



21日(月)
27日(日)

帰敬式(おかみそり) **【御影堂】**

仏・法・僧の三宝に帰依することを誓い、仏弟子としての名前を「法名」をいただく、生涯に一度の大切な儀式です。

【礼金】お一人1万円(20歳以下お一人5千円)
受式を希望される方は、当日9:00～9:30までに参拝接待所へお越しのうえお申込みください。



25日(金)

御伝鈔 **【御影堂】**

16:30～

夕刻、親鸞聖人の御真影を前に、聖人のご生涯を伝える『御伝鈔』(上・下巻)が拝読されます。



21日(月)

御正忌報恩講讃仰法要(音楽法要) **【御影堂】**

9:00～

21日の初速夜に先立ち、作曲家の新実徳英氏により作曲された音楽法要曲を用いて、同朋唱和によりご参拝の皆様と共に勤めます。法要前に慶讃テーマソング「今日も明日もあなたもわたしも」「ひとりじゃない」の2曲を演奏します。



28日(月)

祖徳讃嘆 **【御影堂】**

9:00～

延塚知道氏(真宗大谷派講師・九州教区)

親鸞聖人の祥月命日である11月28日、聖人の恩徳を讃嘆し、その教えをいただく場として行われます。

坂東曲 **【御影堂】**

10:00～

結願日中(御満座)に勤まる「坂東曲」は、僧侶たちが体を大きく振りながら、念仏と和讃を繰り返す力強い声明で、当派にのみ伝わります。



真宗門徒として帰敬式(おかみそり)を受けましょう

報恩講期間中の催し

23日(水・祝)
26日(土)
27日(日)
28日(月)

子ども参拝案内所 **【境内白洲】**

9:00～16:00
(28日は正午まで)

子どもたちに向けた両堂の参拝案内を実施。参拝記念品をお渡しします。工作や紙芝居、読み聞かせが楽しめます。



23日(水・祝)

子ども報恩講のつどい **【御影堂】**

11:45～13:00

正信偈のお勤めとお話の様子をライブ配信します。(配信時間:12:15～13:00)

お話 狐野秀存氏(大谷専修学院長)
申込・お問い合わせ 青少年センター
TEL 075-354-3440



定員250人 ※事前申込制



23日(水・祝)

大谷中・高等学校吹奏楽部演奏会 **【御影堂北側広縁】**

11:30～12:10

躍動感溢れる演奏をお楽しみください。各年代で楽しめる曲が演奏されます。



24日(木)

高倉幼稚園園児による発表会

【真宗本廟視聴覚ホール】

11:00～12:00

園児たちが歌やダンスを披露します。どなたでも観覧いただけます。



24日(木)

第30回真宗教学学会講演会

【しんらん交流館2階 大谷ホール】
18:00～20:30(開場17:00)

テーマ 仏教の人間観ー生老病死を考えるー
講師 平岡 聡氏(京都文教学園学園長・京都文教大学教授)
織田頼祐氏(同朋大学特任教授・大谷大学名誉教授)

※参加要項の詳細は宗派ホームページをご覧ください。

25日(金)
27日(日)

涉成園 夜間参観

【涉成園】

夕刻の涉成園(閨風亭)や外の芝生で、くつろぎながら本を読めます。

※内容の詳細や時間は決まり次第宗派ホームページでお知らせします。

庭園維持寄付金 500円以上(ガイドブック進呈)

アクセス J R京都駅より徒歩10分、地下鉄五条駅より徒歩7分。



26日(土)
28日(月)

親鸞聖人讃仰講演会 **【しんらん交流館2階 大谷ホール】**

宗祖親鸞聖人のあきらかにされた本願念仏の教えをともに学び、そのご生涯を偲ぶ講演会です。

講師 26日(土) 「親鸞聖人の人間としての魅力・その信仰の魅力」
藤田正勝氏(京大名誉教授)
27日(日) 「必至滅度、という往生ー仏教における生と死ー」
小川一乗氏(大谷大学名誉教授・真宗大谷派講師)

27日(日) 「親鸞聖人の歩みに学ぶ」
金龍 静氏(元本願寺史料研究所副所長)
「宗教的実存ー二河譬と金剛心」
本多弘之氏(親鸞仏教センター所長・真宗大谷派講師)

28日(月) 「末法を知る」
藤田ジャクリーン氏
「往生の信心」池田勇諦氏
(同朋大学名誉教授・真宗大谷派講師)

毎日開催



お斎 **【大寝殿】**

※21日、28日は2回目のみ

報恩講のお斎(精進料理)を、大寝殿でお召し上がりいただけます(全席椅子席)。

※折詰(お弁当)、けんちん汁、お土産をご提供します。

夏加金 お一人/3,500円(当日、受付にてお納めください)
定員 各回60名(定員になり次第締切。事前にお申し込みください。本廟部・参拝接待所TEL 075-371-9210)
※大寝殿へは、参拝接待所よりお入りください。

東本願寺お買い物広場

【境内白洲】 9:00～16:00

(25日は18:30まで、

28日は7:00～16:00)

東本願寺発行の書籍やオリジナルグッズを販売。



報恩講園児絵画展

【御影堂北側高廊下・しんらん交流館】

※時間は各施設の開所時間に準じます。

(28日は12:00まで)

(公社)大谷保育協会加盟園と京都市内の各園から募集した園児の絵画を展示します。

※京都駅前公益地下ストリートギャラリーでも展示しています。



報恩講人權パネル展

【境内白洲】

9:00～16:00(28日は12:00まで)

解放運動推進本部と女性室で取り組んでいる課題に関するパネル等を展示します。



おてらおやつクラブ in 東本願寺

みなさまからの「おそなえ」をお預かりし、真宗本廟(東本願寺)内の御本尊に「おそなえ」した後、経済的に困難な状況にあるご家庭や、支援を必要としている子どもたちに「おすそわけ」します。みなさまのご協力をお願いいたします。

期間 11月21日～12月19日

対象物 お米、お菓子、乾麺、レトルト食品、飲み物、缶詰、調味料等の食品類、洗剤等の生活用品

※食品類は賞味期限が2023年1月20日以降のもの

※お米 玄米:2年以内に収穫されたもの

白米:精米してから夏を越さずに1年以内。複数の精米日が混入するものは半年以内。※精米日をご記入ください。

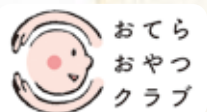
方法 青少年センターへ持参(9:00～17:00)もしくは郵送

受付・問い合わせ 青少年センター

〒600-8164 京都市下京区諏訪町通六条下る上柳町199

TEL 075-354-3440 9:00～17:00

メール oyc@higashihonganj.or.jp



報恩講の詳細は、宗派ホームページにも掲載しています。詳しくは

真宗大谷派

検索

南無阿弥陀仏 人と生まれたことの意味をたずねていこう

第26回

大丈夫

四国教区松山組 福圓寺 田中 将登

聞

今月の
法話

右耳に異変を感じて目が覚めたのは昨年の九月のことでした。これまで感じたことのない激しい耳鳴りと眩暈。三連休の最中でもあり、休み明けを待つて耳鼻科で診察を受けたところ結果は突発性難聴。担当の先生からは即入院するよう勧められました。

予想だになかった結果。思わず「勘弁してよ…」という言葉が口を衝きそうになりました。年忌法要に永代経法要での御法話。自身が幹事を務める研修会に諸会議等、当面の予定は詰まっています。翌日には二回目のワクチン接種も控えていました。すぐ入院することは難しい旨をお伝えし、どうにか処方された薬で様子を見ることにしてもらいましたが、回復の兆しはまったく見られません。

その後再三入院を勧められましたが「なんとか他の方法はないでしょうか」と渋っていました。結局「このままだとホントに手遅れになりますよ」と呆れた様子で諭され、やっと入院を決意した時には発症から一週間以上が過ぎていました。

入院期間は一週間。わずか一週

「仏法は、聴聞にきわまることなり」(蓮如上人御一代記聞書)と教えられているように、真宗門徒は昔から仏法聴聞を大切にしてきました。日々の生活の中で仏さまの教えを聞いていただくことを願いに、毎月一話ずつ掲載します。

間でしたがすべての予定がストップした生活はひたすら長く感じました。完治するのは発症者の三分の一。回復はしても完治まではしない人が三分の一。残り三分の一はまったく回復しない。事前にそう説明を受けていましたが完治はせずともある程度回復するだろうと安易に考えていました。しかし、入院後の聴力検査でも回復は一向に見られません。次第に不安が募る中、退院当日の朝を迎えても結果は変わりませんでした。その後の通院治療で高音の聴力が少し回復しましたがそれ以上回復はせず、耳鳴りの後遺症は今も続いています。

日常に戻っても以前とは違う。思ったように回復しなかった聴力。会話の声も聞き取りづらく耳鳴りの不快感も残る。何より「入院までの間になぜ？」と納得のいかない日々が続きました。

それからしばらく経ち、朝方何気なくテレビをつけるとこんな言葉が飛び込んできました。

「あなたの大丈夫はいつまで大丈夫ですか？」

ちょうど衆議院選挙の直前で政見放送が流れており、ある政党の方が仰られていた言葉でし

た。普段ならば気にならなかったかもしれないが、この言葉は何か今の自分に向けて言われているようで妙に引っかかりました。

「大丈夫」とは一体どういうことでしょうか。「大丈夫」という言葉を辞書で引くと

①あぶなげがなく安心できるさま。強くてしっかりしているさま。

②まちがいがなくて確かなさま。

という意味が出てきます。

あなたはあぶなげなく安心できる存在かと問われると、とてもそう言える自信はありません。また、あなたは間違いなく確かな存在かと問われても自信はありませんし、何か間違いなく確かなものがあるかと問われてもちよつと言葉に詰まります。

老・病・死を見て世の非常を悟る。

(「仏説無量寿経」真宗聖典三頁)

釈尊の出家の動機として知られる言葉です。どんな人であれ老・病・死が避けられないものであることは言うまでもありません。私にとってもそのことは間違いなく

確かなことのひとつと言えます。しかしながらいつの間にかそのことが他人事になり、老・病・死を伴った生であるという自覚が欠けたまま自分に都合の良い日常が続くと思っていた、その思いこみこそが「私の大丈夫」だったので。

煩悩障眼雖不見
大悲無倦常照我

(「教行信証」行巻「真宗聖典」二〇七頁)

わが身をたのみ、わが思いにこだわりの「自分は大丈夫、まだ大丈夫」と信じてやまない私。そのことを見通してなお「大丈夫ですよ」と仏はいつも私を照らし続けてくださっています。私がそのことに気づいていくとも。

発症から一年が過ぎました。その間に何度か聴力が回復してきているような期待を感じた瞬間がありました。しかし、そんな期待を打ち消すようにぶり返す激しい耳鳴りにウンザリしたりイライラしたり繰り返します。

ただ私にとって不都合でしかない耳鳴りは、今なお独りよがりな「大丈夫」に執着する私自身を照らす大事なおはたらきなのかもしれません。

永田文昌堂

最新刊

真宗伝道学研究序説

深川宣暢著

定価2640円(税込)

学佛 ―仏の大悲心を学ぶ―

直林不退著

定価1650円(税込)

ラジオ法話 親鸞 正信偈
土岐慶正著 定価2750円(税込)
本書は、FM「ラジオたかおか」で二〇一八年八月から二〇二二年一月まで放送された、親鸞聖人の「正信偈」の一分間法話に、一部加筆し現代語訳(試訳)を加えたもの。「正信偈」のなかに響いている宝石のような鼓動を、法話として伝える。

アミダ・プロジェクト

―人間社会を問い返す最後の根拠―
野世信水著 定価2420円(税込)
今回のロシアとウクライナの戦争において浮き彫りになった想像をはるかに超える人間社会の悲しき現実。今必要なことは、自分自身が日々生きる上において、その根拠たるべき思想基盤としての親鸞さんである。この本では、親鸞さんの念仏の真意を明らかにし、アミダ仏の本願を追求する。

東本願寺御用達

日下念珠店

〒600-8174

京都市下京区烏丸通花屋町下ル

電話 (075)351-6325

フリ-FAX 0120-89-5255

定休日：日曜日

皆様の平安

平安は三つの信念で精進しています

- ①優良な商品を吟味し御調製
- ②価格も出来る限り勉強
- ③親切と誠意あるサービス

法衣、打敷、幕、会旗、念珠、稚児貸衣裳

御本山御用達

平安法衣店

京都市下京区東本願寺大門前(〒600-8153)

電話 京都(075)351-3681(代)

FAX (075)351-5563

慶讃NEWS

来年の5月5日、子どものつどいin東本願寺を開催します!

入場
無料

来年の5月5日に「子どものつどいin東本願寺
～であう つながる ともにある～」があるよ!
今月号では、当日の境内のイメージを紹介します!

であう つながる ともにある

日程

- 10:00 オープニング[御影堂]
- 10:30 東本願寺を知ろう!①
(探検・体験イベント)[御影堂・諸殿]
遊ばースSTART!(15:15まで)
- 13:00 おつとめ・帰敬式[御影堂]
- 14:00 東本願寺を知ろう!②[御影堂・諸殿]
- 15:30 エンディング[御影堂]

見て、触れて、 東本願寺を知ろう!

御影堂と阿弥陀堂にある仏具を
ピカピカに磨いたり
大きなお仏供(お仏飯)を近くで見られるよ!
境内を探検しながらシールを集める
シールラリーにも行ってみよう!

配信もあります

上記日程を「YouTube東本願寺公式チャンネル」で配信します。

うちからも
参加できるよ!

れん
連ちゃん

内容は予定であり、変更となる場合があります

参加方法

- ◆要事前申込・定員1,650人(先着順・記念品つき)
昼食(1,000円)、帰敬式受式(願事礼金[20歳以下:5,000円、
21歳以上:10,000円])を希望される場合は参加とあわせて
お申し込みください
- ◆12月から事前申込がはじまります
※募集要項は寺院・教会宛に12月号とともに送ります
- ◆当日参加も可能です(ただし、参加記念品はありません)

高岡教区

宗祖親鸞聖人御誕生八百五十年・立教開宗八百年慶讃事業

井波御坊フェスを開催



田中幹夫氏のお話の様子

9月4日、井波別院瑞泉寺で高岡教区慶讃法要記念事業「井波御坊フェス」が開催され約250人が参加しました。この記念事業は、信仰心が根付いた先人たちの暮らしに学び、地域の魅力を再発見することを願い計画されました。

開会前には南砺市の妙好人「赤尾の道宗」ゆかりの道宗打ち(梵鐘と太鼓の同時打ち)と井波別院瑞泉寺再建時に伝わる「木遣り踊り」が披露され、フェスの幕開けを告げました。北島昭彦高岡教務所長の開会宣言の後、田中幹夫氏(利賀村念仏道場)のお話があり、地域において寺院や僧侶が果たす役割について語られました。引き続き、太田浩史氏(となみ民藝協会)、松金直美教学研究員、西山郷史氏(日本宗教民俗学会委員)による鼎談が行われました。また、本堂内では、「真宗の生活展」があり、ご門徒所有の蓮如上人の六字名号や、使い込まれた仏具や掛け軸など約60点が展示。山門周辺では地域の方々が中心となったマルシェも開催されました。地域に根付いた真宗の生活をあらためて確かめる機会となりました。

(高岡教区通信員 竹部俊樹)



真宗の生活展

慶讃法要記念俳句を募集します!

親鸞聖人のご生涯をはじめ、浄土真宗が伝えられてきた歴史や願いに思いを馳せ、あなたの思いを17文字に表現してみませんか。たくさんのご応募をお待ちしています。

募集期間

2022年11月1日(火)から12月20日(火)必着

選者名

安原葉先生(真宗大谷派安浄寺住職/ホトギス同人会長)
稲畑廣太郎先生(俳誌『ホトギス』主宰)
坊城俊樹先生(『花鳥』主宰)
星野高士先生(俳誌『玉藻』主宰)

作品の応募について

四季雑詠、未発表作品、一人5句まで(応募無料)
※季題(季語)及び題材は自由です。慶讃法要をご縁として感じられることを俳句として表現ください。
※応募の際は、応募句・名前・ふりがな・俳号(ある方のみ)・郵便番号・住所・電話番号を明記のうえ、下記投句先まで郵送にてご応募ください(書式不問)。

オンラインでも
応募できます



詳細は、
慶讃法要特設サイトを
ご覧ください



賞

慶讃法要大賞4作品及び各選者による特選及び入選

審査発表

本人への通知のほか、法要期間中に慶讃テーマ館での掲示及び宗派HPへ掲載します。また、大賞のみ月刊『同朋』誌2023年5月号へ掲載します。

投句先

〒600-8308
京都市下京区新シ町121同朋会館(研修部)慶讃法要記念俳句募集係
TEL:075-371-9185
MAIL: dobokaikan@higashihonganji.or.jp



御影堂門前の会場には多くの方が訪れた

8月5日から9月3日まで、京都駅周辺の賑わいづくりを目的とした「下京・京都駅前サマーフェスタ」が開催された。下京・京都駅前サマーフェスタは、下京区、京都駅ビル開発、東西本願寺が実行委員会を組織し毎年夏に開催しているもので、東本願寺や西本願寺、京都駅前などの各会場におけるイベントのほか、各会場や商店街をめぐるスタンブラー等も開催。今年の東本願寺会場では、昨年より活動している「おひがしさん門前未来プロジェクト」にて企画した「おひがしさん 夏の夕涼みの会」を開催。暑さを避けた夕方に楽しめる企画を実施した。

「下京・京都駅前サマーフェスタ」に参画 夕方前マルシェなど開催

メインとなったのは、閉門後の御影堂門前で開催した「門前プチマルシェ」。毎週金曜土曜を基本に、夕方5時半から20時まで、門前をイメージしてブレイクされたお茶やコーヒー、地元京都のクラフトビールなどを販売し、夏の夕暮れ時を門の前でゆっくり過ごしていただける場を提供。あと半年ほどで完成を迎える「東本願寺前市民緑地」の完成後の姿を少しでも感じてもらうと企画された。

1か月で約1000人が来場し、会場では、来場者にアンケートも実施。「帰り道にほっとできた」や「心地よい」などの感想も寄せられた。



プチマルシェの様子

委員会では、既に2回開催され、第1回(8月25日)では、委員長に真城義磨氏(四国教区善照寺・真宗大谷学園専務理事)が、副委員長には諸岡敏氏(能登教区明敬寺・宗議会議員)が互選され、自己紹介や今後の委員会の進め方について意見交換が行われた。

第2回(9月13日)では、木越渉宗務総長より「ON THE SAME PAGE(同じページにいます)」を共



宗務改革の推進に関する
条例施行について



宗務改革(行財政改革)
内局案に関する内局巡
回について

関連資料を宗派ホームページに公開していますのでご覧ください。

宗務改革(行財政改革)
内局案に関する内局巡
回について

宗務改革(行財政改革)
内局案に関する内局巡
回について



第2回委員会の様子(白書院)

の意見を真摯に受けとめ、「宗務改革の推進に関する条例」に基づき、さまざまな役職・経歴を持つ37人で構成される「行財政改革検討委員会」(以下、委員会)を設置した。

委員会では、既に2回開催され、第1回(8月25日)では、委員長に真城義磨氏(四国教区善照寺・真宗大谷学園専務理事)が、副委員長には諸岡敏氏(能登教区明敬寺・宗議会議員)が互選され、自己紹介や今後の委員会の進め方について意見交換が行われた。

第2回(9月13日)では、木越渉宗務総長より「ON THE SAME PAGE(同じページにいます)」を共

「行財政改革検討委員会」が始動 ―宗門の将来を広く丁寧な議論によって形づくる―

宗門では、宗務改革の必要性が叫ばれるなか、昨年度実施した「宗務改革(行財政改革)内局案」に関する内局巡回での意見交換が行われた。

今後の委員会は年内に3回開催し、それ以降の開催は、慶讃法要厳修後の明年5月以降に予定されている。今後、委員会での継続した協議を通して、「同朋会運動推進のために宗門として何を大切に、何に注力しなければならないのか」を考え、現状の宗門諸制度の見直しと新たな具体的施策の方向性を検討し、「行財政改革推進計画」の立案を目指していく。

宗務改革(行財政改革)
内局案に関する内局巡
回について

宗務改革(行財政改革)
内局案に関する内局巡
回について

宗務改革(行財政改革)
内局案に関する内局巡
回について

第16回「親鸞フォーラム」開催 ―現代の孤独を考える―

7月30日、第16回親鸞フォーラム「へいのち」の帰る場所」孤独と自己責任の論理を超えて」を東本願寺真宗会館(東京都練馬区)において開催した。

親鸞フォーラムは、さまざまなジャンルの有識者と仏教者との対話を手がかりに時代社会の問題を顕かにする市民講座として、2009年に初開催。前回からYouTubeでのリアルタイム配信へと開催形態を変更し、約470人が事前に視聴を申し込んだ。今回は、24時間対応のチャット相談システムを運営するNPO法人「あなたのいばしょ」理事長の太田幸星氏と、独自の身体論を通して現代のコミュニケーションのあり方に一石を投じられた美学者の伊藤亜紗氏(東京工業大学教授)をパネリストに迎え、花園一実氏(東京教区圓照寺)がコーディネーターとなってパネルディスカッションが行われた。



真宗会館講堂での収録の様子

「孤独」というものが存在レベルに根差すもので、研究者であるということを超えて、人間として生きていくということを考えさせられる時間であった」と語り、太田氏は、「毎日生きていて、さまざまな悩みを抱えて、誰かを頼りにしながら生きていくことが、人生の本質であることも知ってほしい」と語った。

自己責任社会の中で、独りで悩みを抱えている人は多い。だからこそ、さまざまな視点から語り合い、触れ合うことの大切さをあらためて確かめる場となった。

※本フォーラムの内容は、首都圏教化推進本部発行の「サイン」に掲載予定。
『サイン』バックナンバーはこちらから



札幌大谷高校野球部が 甲子園に出場

真宗大谷派学校連合会加盟校である札幌大谷高等学校(北海道・梅津義信校長)の野球部が第104回全国高等学校野球選手権大会(夏の甲子園大会)へ出場した。

同校は2019年に第91回選抜高等学校野球大会(春の甲子園大会)に出場していたが、夏の甲子園大会は今回が初めての出場となった。

8月9日(大会4日目)第3試合「松学舎大学付属高校(東京代表)対戦。札幌大谷高校は2点を追う8回に1点を奪い、9回もツーアウトから二者連続ヒットを記録。直後に相手のワイルドピッチで同点へと追いつき、粘り強さを発揮したものの、惜しくも9回裏に失点し2対3でサヨナラ負けを喫した。

同校の熱戦はテレビやインターネットでも中継され、北海道日本ハムファイターズの応援で話題の「きつねダンス」が披露され盛り上がりを見せるなど、プレー以外にも多くの人々を魅了した。



両堂参拝の後、同朋会館で壮行会を行った

東本願寺出版 秋のブックフェア 11月1日(火)~11月30日(水)

①「親鸞聖人」オリジナル クリアファイルをプレゼント

2023年版の『法語カレンダー』は、2023年に厳修される慶讃法要にちなみ、親鸞聖人のご生涯をたどる挿画となっています。

『法語カレンダー(2023年版)』もしくは、随想集『今日のことば(2023年版)』をお買い上げいただいた方に、挿画を担当いただいた山口晃氏のオリジナルクリアファイルをプレゼント。
※1回のお買い上げにつき1枚プレゼント

②〈オンライン〉チャリティブックフェア

返品などで傷のある書籍を、定価の半額でインターネットサイトにて販売し、売り上げは、「赤い羽根新型コロナ感染下の福祉活動応援全国キャンペーン」へ寄付いたします。

①11月1日~10日②11月11日~20日③11月21日~30日の3期間、対象書籍を各回ごとに変更し開催します。書籍の詳細は東本願寺出版ホームページをご覧ください。
※インターネットサイト「TOMOぶっく」からのご注文に限ります。

③2,000円以上お買い上げで配送料無料キャンペーン

合計2,000円(税込)以上お買い上げいただいた方には、配送料無料でお送りいたします。

※チャリティブックの購入も含まれます。

ご注文
お問い合わせは

東本願寺出版
HIGASHI-HONGANJI PUBLISHING

TEL:075-371-9189
詳しい書籍情報は 東本願寺出版



東本願寺出版HP TOMOぶっく

宗祖親鸞聖人七百五十回御遠忌記念
紅地天人之図総手刺繍御打敷謹納

〒600-8159 京都市下京区烏丸通東本願寺前
TEL フリーダイヤル 0120-07-6391
FAX フリーダイヤル 0120-34-2816
https://shibata-houiten.com/ @SHIBATAHOUITEN
(Webカタログ掲載・商品動画配信)

真宗大谷派 東本願寺御用達 京法衣事業協同組合加盟店

株式会社 柴田法衣店

募集中

「いま、あなたにのこしたい言葉」

寺院活性化支援室では、生活をとおしてあなたに届けられた、お念仏の教えが染みついた言葉を募集しています。みなさんが身近に使っている言葉や、聞いたことのある言葉をぜひ教えてください。

- ①「言葉」と「言葉にまつわる背景やエピソード(200字まで)」
- ②その言葉が使われている地域
- ③「氏名」・「年齢」

を記入して、応募フォーム、またはメールもしくはハガキで下記までご応募ください。

※メールの方は件名に「いま、あなたにのこしたい言葉応募」と入力の下記アドレスへお送りください。

メールでの応募はこちら➡

※応募いただいた言葉は「浄土真宗ドットインフォ」や冊子等で紹介する場合があります。



締め切り 2023年3月31日(金)

お問い合わせ

応募フォームおよび
くわしくはこちら



真宗教化センター 寺院活性化支援室
「いま、あなたにのこしたい言葉」係

〒600-8164

京都市下京区諏訪町通六条下上柳町199番地しんらん交流館

TEL 075-371-6171 メール kikaku@higashihonganji.or.jp

▼あたわり
地域：北陸地方
数人で雑談している時、とある人の行動について話がおよんだ。その人は何事も丁寧にする人で、それを褒めていたのだが、ひとりがその人の性質を「あたわりやね」と語った。するとその場にいた皆、「そや。あたわりや」と共有しあった。また、短気ですぐ怒る人も「あたわり」と表現した。世間の物差しで良い事も悪い事も、いただきもの、たまわつたものだということを日常の中で確かめた言葉。

言葉とエピソードの例

▼お浄土へまいらしても
はりました
地域：滋賀県湖北

祖母が亡くなった時、仕事で遠方にいた私に電話で母から伝えられた言葉でした。「亡くなった」ではなく「お浄土へまいらせていただいた」と言われたのが、心に残っています。滋賀県の湖北では、人が亡くなった時にこの言葉を使います。母は結婚を機に湖北で暮らすようになったのですが、すっかり文化を継承していると感じました。

参加者は、講義、話し合い、絵付け体験、感話大会、スィカ割り等の日程を通して、

参加者からは「普段全然考えないことを深く考えることができた」、「いつも周りの人に支えてもらって生活している、生かされていることに気づけた」、「スタッフは学校の先生のような感じだと思っていたけど、気軽に話してくれて束縛感なく楽しく過ごせた」等、一人ひとりの素直な感想が寄せられた。



講義(太田宣承氏)

8月22日から24日、真宗本廟中学生・高校生奉仕団(テーマ「私は正しい」)が開催され、太田宣承氏(東北教区碧祥寺住職)を講師に、中学生15人・高校生4人の計19人が参加した。

2020年度は新型コロナウイルス感染症の感染防止のためやむなく中止としたが、2021年度(本年3月)から感染症対策を講じた上で再開した。



清掃奉仕の様子

読者のお便り

母との思い出

福岡県久留米市 江頭 喜美恵(72)

8月号の「聞—今月の法話」を読んで、5年前に亡くなった母と共に30年前、帰敬式を受けるため京都に伺ったことを思い出しました。寒い冬の日でした。

別府からフェリーに乗り、大阪に着いて汽車に乗り換え京都まで。母と一緒に歩んだ道のりは今でも思い出せます。その時いただいた法名は、お内仏の引き出しに大事にしまっていて、子どもたちにも、「私には、仏さまのお弟子としてのもう一つの名前があるからね」と言い聞かせてあります。

ご縁があつてお寺のお世話をするようになりもう10年になります。今はお寺の花壇の手入れが楽しみの一つで、素敵な人と言葉に出あいながら日々を過ごしています。機会があればまた京都にお参りしたいです。

お便り募集

「同朋新聞」の感想をはじめ、日々の思いなどをお寄せください。

宛先

〒600-8505 京都市下京区烏丸通七条上 東本願寺出版「同朋新聞編集係」

紙幅の都合上、掲載時は添削・抜粋させていただきます。

慶讃法要ボランティア募集！

募集対象 真宗大谷派の僧侶・門徒・関係学校の学生
応募方法 所定のエントリーシートに必要事項を記入のうえ、右記応募先まで郵送またはFAXにて提出ください。
※エントリーシートは宗派ホームページよりダウンロードできます。
※郵送をご希望の場合は右記「慶讃法要ボランティア募集係」へご連絡ください。
応募締切 2023年2月28日(火)
募集内容 ①清掃・接遇業務 ②境内催事「憩いのひろば」「子どものひろば」のお手伝い

“慶讃法要ボランティア”としてご協力いただける方を募集しています。真宗本廟で、全国の御同朋とともに慶讃法要をお迎えしませんか。多くの方々の参加をお待ちしております。

応募・お問い合わせ 真宗大谷派宗務所総務部 慶讃ボランティア募集係
〒600-8505 京都市下京区烏丸通七条上 常葉町754番地

TEL:075-371-9272
FAX:075-371-1214

※詳細は慶讃特設サイトをご参照ください。

慶讃特設サイトは
こちらから



ご案内

新型コロナウイルス感染症の感染拡大防止のため、休館日・開館時間及び掲載内容について、中止・延期もしくは日程等を変更する場合がありますのでご了承ください。

しんらん交流館 京都市下京区諏訪町通六条下上柳町199番地

◇11月の定例法話【場所】1階 すみれの間 【時間】毎日14時～
※毎週火曜日、11月19～29日は休会、その他都合により休会する場合があります。

◇11月の東本願寺日曜講演
【場所】2階 大谷ホール 【時間】9時30分～11時
【講師】◆6日…平野喜之(金沢教区浄専寺住職)
◆13・20・27日…休会

◇交流ギャラリー(1階)【時間】開館時間に同じ
「柳宗悦がであった土徳～人と自然がはぐくんだ越中富山の美～」展
【期間】開催中～2022年12月15日(木)

◇しんらん交流館 Tera School【場所】1階 すみれの間
【日時】毎週月・金曜日 18時30分～20時30分
【対象】小学3年生～高校3年生 ※幼児教室もあります。 http://www.teraschool.jp

東本願寺いのちとこころの相談室 【TEL】075-371-9280
【開室時間】毎週木曜日 13時～17時(祝日または休館日、その他行事日は閉室)

全国のお寺での取り組みや読みもののページなど、さまざまな情報を発信しています。

浄土真宗ドットインフォ

検索

真宗本廟(東本願寺境内) 京都市下京区烏丸通七条上

◇晨朝(おあさじ)【場所】阿弥陀堂及び御影堂 【時間】毎日7時～

◇晨朝法話 【場所】御影堂 【時間】毎日7時30分頃～

◇真宗本廟法話 【場所】御影堂または大寝殿

【時間】通常10時10分～／13時10分～
逮夜日(12・27日)13時10分～ 御命日(28日)9時30分～
※その他、時間・会場を変更する場合があります。

◇参拝接待所ギャラリー 【時間】9時～16時

「親鸞聖人のご生涯」(常設展)開催中

詳しくは、真宗大谷派ホームページまで

東本願寺

検索

入館状況については、研修部まで
お電話でお問い合わせください。

真宗本廟奉仕のご案内

真宗本廟奉仕を機に、
ぜひ「帰敬式」を受式ください。

◆真宗本廟お煤払い奉仕団

2泊

2022年12月19日(月)～21日(水)

1泊

2022年12月19日(月)～20日(火)

歳末、両堂の1年分の埃を竹の棒と大きな
団扇を使って外へ扇ぎだし、新しい年をお
迎える準備を行う「お煤払い」に参加す
る奉仕団です。

申込締切 2022年11月9日(水)



◆真宗本廟おみがき奉仕団

2泊

2023年3月2日(木)～4日(土)

1泊

2023年3月2日(木)～3日(金)

宗祖親鸞聖人御誕生八百五十年・立教開
宗八百年慶讃法要を迎えるにあたって、阿
弥陀堂や御影堂の仏具のおみがきを日程
の中心とした奉仕団です。

申込締切 2023年1月20日(金)



参加費 (2泊3日) 18,000円、米2kg(1升4合)または米代1,300円
(1泊2日) 13,000円、米1.2kg(8合)または米代800円 ※左記は大人(15歳以上)の場合です。

【お問い合わせ】同朋会館・研修部 TEL:075-371-9185

- ・受け入れ状況などの情報は、同朋会館ホームページでご覧いただけます。
- ・ご入館される皆様に安心して過ごしていただけるよう、新型コロナウイルス感染症予防対策を実施し運営しています。
- ・具体的な対策については、同朋会館ホームページよりご確認ください。

宗祖親鸞聖人御誕生八百五十年・立教開宗八百年慶讃法要奉仕団、讃仰奉仕団、真宗本廟奉仕体験奉仕団の参加を募集しています。
詳しくは同朋会館HPをご覧ください。



真宗本廟奉仕
参加者の声を
ご紹介

自分の人生をふりかえる
良い時間になりました。
(80代・男性)

今月号の『同朋新聞』を読んで、

プレゼント付 クロスワードパズルを完成させよう!

「タテのカギ」「ヨコのカギ」それぞれの設問に答え、
クロスワードパズルを完成させましょう!

11月号の『同朋新聞』を読むと、ほとんどの答えがわかります!!

タテのカギ

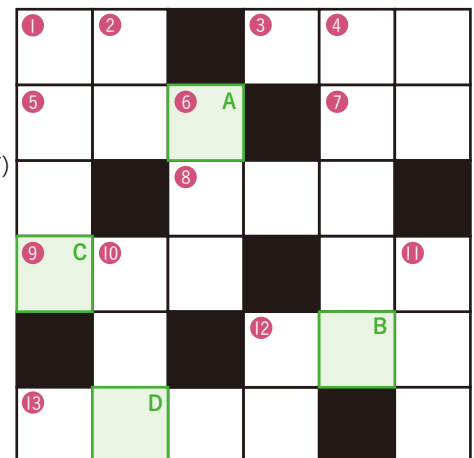
- 『親鸞聖人にであう』深く悩まれた親鸞聖人は、
「聖と〇〇〇〇」にゆかりがある六角堂に向かわれます。(5面)
- 『現在を生きる』今月は、東京教区の「佐抜〇〇ー」さんを
紹介しています。(4面)
- 『慶讃ニュース』井波別院瑞泉寺の本堂内で
「真宗〇〇〇〇〇〇展」が開催されました。(9面)
- 「慶讃法要記念〇〇〇」の募集が始まります。(9面)
- 11月23日に「〇〇〇報恩講のつどい」が
開催されます。(6・7面)
- 『報恩講』の様子をインターネットにて
「〇〇〇配信」します。(6・7面)

ヨコのカギ

- 7月30日、第16回親鸞フォーラム「〇〇〇の帰る場所
～孤独と自己責任の論理を超えて～」を東本願寺真宗会館に
おいて開催しました。(10面)
- 報恩講の詳細は、宗派ホームページにも掲載します。
詳しくは「真宗大〇〇〇」で検索を。(6面枠外)
- 『御同朋・御同行からの問いかけ』今月のテーマは、
「女〇〇差別一聖教の言葉から考える」です。(4面)
- 『親鸞聖人にであう』の執筆者は、「〇〇〇文雄」先生です。(5面)
- 『聞一今月の法話一』今月の筆者は、「〇〇〇教区」の
田中将登さんです。(8面)
- 9月4日、「井波〇〇〇ん瑞泉寺」で高岡教区慶讃法要記念
事業『井波御坊フェス』が開催されました。(9面)
- 子どものつどいのテーマは、「であう つながる
〇〇〇〇る」です。(9面)

※答えはすべて「ひらがな」でお答えください。

答え



9月号のクロスワードパズルの答えは、
ま
ん
げ
つ

読者のこえ

(8月号を
読んで)

- ◆「人間といういのちの相」ごみと判断してごみにしているのは私自身だということを学ぶことができました。
- ◆じっくり読みながらパズルをするのがうれしいひと時です。
- 住職さんも考えながら説明してくださるので楽しいです。(20代女性)

チャレンジ!

正解者の中から抽選で5名様に「東本願寺出版オリジナル図書カード1000円分」をプレゼントします!

郵便はがきまたはメールにて、①「クロスワードパズルの答え」②「郵便番号」・「住所」・「氏名」・「年齢」・「電話番号」と③『同朋新聞』の感想や紙面に関する要望を
添えて、下記までご応募ください。今月号の締め切りは11月30日(水) (当日消印有効)です。

メールでも応募できます!!

はがきと同様に必ず上記①②③を記入し、「件名」に「同朋新聞11月号クロスワード応募」と入力するうえ
higashihonganjishuppan@gmail.comへお送りください。



応募はコチラ

【ご注意】◆当選者の発表は、発送をもって代えさせていただきます。◆個人情報情報はプレゼントの発送および紙面づくりの参考に使用し、
それ以外の目的には使用しません。◆感想は「読者のお便り」に掲載する場合があります。
◆本クロスワードパズルは、独自のルールに基づいて作成しております。

宛先 〒600-8505 京都市下京区烏丸通七条上る
東本願寺出版「クロスワードパズル係」まで

編集室
だより

◇本年も11月21日から28日まで御正忌報恩講が勤まります(6・7面)。私も気づけば、真宗本廟の報恩講に会うのも11度目となりました。初めて参拝した時、キンと冷たい空気の中、内陣の大きな蠟燭の火がゆらゆらと揺れ、たくさんの参拝者の「南無阿弥陀仏」のお念仏の声の白い息とともに響きわたる光景に、ふと、真宗門徒でよかった、と思った瞬間を今でも鮮明に覚えています。慶讃法要を目前に控えた今年の報恩講。親鸞聖人が説かれ

た「南無阿弥陀仏」の教えに、皆さんと共に、大切にあらわさせていただきたいです。◇このたび『同朋新聞』の編集に携わることになりました。本年で発行60年を迎えた歴史ある新聞の編集業務に当たらせてもらえること、身が引き締まる思いでいっぱいです。読者の皆さまの心がポツと明るくなるような、また、読み応えのある紙面をお届けしたいと思っています。よろしく願います。(林)

真鍮製仏具向け洗浄剤

《みぞきれいぴかっと》

目詰まりキレイに!
泡沫で溝や彫刻細部の汚れ除去!



洗浄剤の改良により、より強い効果が
発揮できるようになりました。特に石
灰化した研磨剤の目詰まりには強い威
力を発揮します。是非、報恩講等ご法
要の前のお磨きにご利用ください。

50ml入(スプレー).....1,760円
200ml入(スプレー).....5,830円
詰め替え用2000ml入.....41,800円

※価格は税込です。



使用前



使用后

合掌の心と共に193年 お仏壇・仏具はやっぱり京都!

◆お仏壇・仏具の事なら何でも
お気軽にご相談ください。

☎0120-37-8585



創業天保元年 伝統工芸 京仏壇・京仏具

株式会社 若林佛具製作所

文化財修理 社寺内装・外装工事



株式会社 若林工芸舎

京都本店 〒600-8218 京都市下京区七条通新町東入
築地店 / 札幌店 / 仙台営業所 / 福岡営業所

寺院用オンラインショップをオープンしました!

wakabayashi-jiin.com 若林仏具 オンライン

https://www.wakabayashi.co.jp/

●ホームページもぜひご覧ください https://www.wakabayashi.co.jp/